



3月



三月の別名「花見月」は、春の訪れを祝う行事が多かったことに由来します。梅や菜の花が彩りを増し、日差しも柔らかく季節ですね。年度末の慌ただしさの中でも、ふと立ち止まり、移ろう春の気配を感じられる穏やかな時間が訪れますように。



- ・1月決算法人の確定申告
- ・個人確定申告期限（～3/16(月)）
- ・7月決算法人の中間（予定）申告
- ・贈与税申告期限（～3/16(月)）

企業経営や税務会計、業種ごとに役立つ情報を紹介していきます

経営虎の巻 第134回 AI時代の経営は“使う力”より“活かす力”

AIが一気に広がった今、企業の競争力を決めるカギは、AIを導入しているかどうかではなく、AIをどう活かしているかに変わってきました。文章作成や資料づくり、情報整理といった仕事はAIが短時間でこなすようになり、作業スピードの差は企業間で縮まりやすいでしょう。だからこそ、経営者に求められるのは判断の質になります。

AIが示す答えはあくまで選択肢の一つであり、最終的にどの方向へ進むかを決めるのは人間です。特に近年は、AIの使い方に関するルールづくりやデータ管理の重要性が高まり、ただ便利だから使うだけではリスクも大きくなります。AIの特性を理解し、人の知恵と組み合わせることで意思決定の仕組みを整えることが欠かせません。

そのために必要なのは、①AIを使いこなせる人材の育成 ②正しいデータを集める仕組み ③AI活用のルールづくり、の三つです。AIが仕事を代わりにやる時代だからこそ、人間には良い問いを立てる力が求められます。AIを味方につけ、判断の質を高められる企業こそ、これからの時代に強くなります。



長らく続いたゼロ金利の時代が終わりを告げ、金利のある世界が戻ってきました。預金金利の上昇は歓迎すべきニュースですが、同時に借入金利の上昇や物価高騰という波も押し寄せています。現金のまま持っているのが一番安全というこれまでの常識は、インフレ下では資産の実質価値を目減りさせるリスクになり得ます。また、金融機関から「短期プライムレートの上昇に伴い、変動金利の貸出利率を引き上げる」という連絡があった際、感情的に交渉したとしても、契約書に基づいた改定であれば、望む結果を得ることは難しいのが実情です。

銀行の普通預金や定期預金の金利は、上昇したとはいえ、依然として低水準に留まっています。一方で、これまでは投資妙味が薄かった国債や社債は、金利上昇により、一定の利回りを生む安定資産としての魅力が復活しました。例えば、日本のメガバンクが発行する満期1年程度の社債でも、1～2%程度の利回り（実質的な金利）を期待できるものがあります。もし現在、資金を定期預金などで固定化しているのであれば、運用先を債券に切り替えることで、借入利息の上昇分をカバーできる可能性もあります。

債券は、株式のような劇的な値上がり益は見込めないものの、預金より高い利回りが期待でき、満期があるため資金計画を立てやすいのが特徴です。また、日本の金利が上がったとはいえ、米国などの海外金利と比較すれば、その差は依然として歴然です。

そこで、手元のまとまった円資金の運用先として選択肢に入るのが、外貨建て一時払い終身保険です。これは、相対的に金利の高い米ドルや豪ドルなどで運用することで、高い利回りを確保しつつ、円安時には為替差益も期待できる商品です。さらに、万が一の際の死亡保険金は円建ての商品よりも高く設定されており、年齢等の条件によっては、外貨ベースの払込金額の4倍程度になるケースもあります。

資産を増やす機能と、家族に残す機能（相続対策）を兼ね備えているのが強みです。なお、金利の上昇により、過去の契約と現在販売されている商品とでは、保障内容やコストパフォーマンスが大きく異なります。保険を見直すことで、同等の保障を維持しながら保険料を大幅に抑えられることもあり、まさに休眠資産を掘り起こすような効果が期待できます。

金利のある世界では、お金の置き場所を分散・変化させることが資産保全の鍵となります。皆さんもこの機会に、ご自身の資産配分を見直してみませんか。



解体新書

新スタッフの自己紹介と上司の激励メッセージです

楠本 雅也 (くすもと まさや)

- 部署 会計部
- 誕生日 6月13日
- 職歴 理学療法士
- 趣味・特技 バスケットボール、漫画、ギター
- プチ自慢 とても綺麗な三角形のおにぎりを握ることができます。



あいさつ 前職では理学療法士として18年間病院に勤務していました。会計事務所での経験はまだ浅く、勉強中の身ではございますが、「お客様に対して誠実に、一生懸命に」という信念を強く持ち、病院で培ったホスピタリティーの精神を活かして業務に尽力する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

上司からのメッセージ 他業種からの転職ではありますが、入社時点で税理士科目を3科目合格しており、入社後にさらに1科目合格した努力家です。お客様とお話することが好きで、その対応には落ち着きと人柄の良さがにじみ出ていると感じます。温かいご指導のほど、よろしくお願いいたします。

行列ができる保険相談所

新年度は家計もデトックス！

「保険の棚卸し」で始める春の資産防衛

桜の便りが届き始め、心機一転、新しい生活がスタートする春。進学や就職、異動などライフスタイルが変化するこの時期こそ、実は「保険の見直し」に最適なタイミングです。洋服の衣替えをするように、保険もその時の自分に合わせてサイズ調整をする必要があります。なぜなら、保険は一度入れれば一生安心というものではなく、ライフステージの変化とともに、「必要な保障」と「不要な保障」が入れ替わるからです。

例えば、お子様が独立したのに、子育て真っ最中の頃と同じ高額な死亡保障を掛け続けていませんか？あるいは、医療技術の進歩により、入院日数の短期化が進んでいるにもかかわらず、長期入院重視の古いタイプの医療保険を更新し続けていないでしょうか。現状のリスクに対して保障が大きすぎる「メタボ保険」は、家計の固定費を圧迫する最大の要因です。逆に、守るべき家族が増えたのに独身時代のまま…という保障不足も避けなければなりません。

保険を見直す最大のメリットは、固定費の削減により、未来への投資余力が生まれることです。重複した保障や無駄な特約を外し、新NISAや運用できる保険・利率の良い定期預金などの資産運用に回す。これこそが、インフレ時代における守り（保険）と攻め（投資）のバランスが取れた、最強の家計管理術です。

「難しそう」と後回しにせず、まずは引き出しの奥にある保険証券を取り出してみてください。今の自分にこの保障は本当に必要か？その問いかけが、豊かな未来を作る第一歩になります。

詳しい話を聞きたい方は担当者までご一報ください。専門スタッフがご対応いたします。

(株)フィナンシャル・エージェンシー 徳島営業所
近藤 優



「経理書類を整理するのは、面倒だな…」と思うことはありませんか？この悩みは昔からあり、人類にとって記録は文明の第一歩だったようです。世界最古級の文字記録は、詩や物語ではなく家畜や穀物の取引記録とされています。紀元前3000年頃のメソポタミア(現在のイラクを中心とする周辺地域)で、シュメール人が粘土板に刻んだものが始まりです。そこには、誰が何を渡したかが詳細に記され、役割は現代の領収書に近いものでした。人類が文字を発明した主要な動機の一つは、正確な会計記録を残すためだった、という説が有力です。